

法 学 第 1 6 7 号

平成 29 年 5 月 18 日

各 私 立 学 校 長 様
(中・高)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 29 年度産業・情報技術等指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、受講を希望される場合は、別紙「推薦名簿」に必要事項を記入のうえ、平成 29 年 6 月 15 日（木）までに当課宛て提出願います。

また、期限までに提出がない場合は、希望なしとして取り扱うことを申し添えます。

【担当】私学振興担当 半田

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

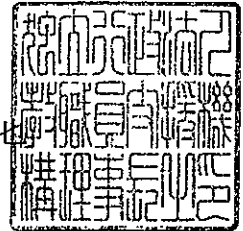
メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独教次調第14号

平成29年5月12日

各都道府県知事 殿
附属学校を置く各国立大学法人の長

独立行政法人教職員支援機構
理事長 高岡 信七



(印影印刷)

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修の実施について（依頼）

日頃から、独立行政法人教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記の研修につきまして、別添の実施要項に基づき実施することといたしました。

ついては、受講者の推薦がある場合は、別添の実施要項中「5 受講者(4)推薦手続」によらず、別紙2「推薦名簿」を平成29年6月22日（木）までに、電子メールにて、下記宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/>）→研修・セミナー→機構が行っている研修→委託研修→産業・情報技術等指導者養成研修）よりダウンロード可能となっております。

また、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。貴職におかれましては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、女性の更なる活躍が期待されることから、当機構としては、女性の受講者の一層の増加を目指しています。各教育委員会におかれましては、女性の積極的な推薦について御配慮願います。

【本件連絡先】

独立行政法人教職員支援機構

次世代型教育推進センター 一ツ橋事務所

調査企画課 調査企画係（横澤、中嶋、静田）

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

学術総合センター11階

TEL 03-4212-8463（ダイヤルイン）FAX 03-4212-8466

E-mail kyouiku1-3@ml.nits.go.jp



平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修実施要項

1 目 的

本研修は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省、教育関係団体・大学等（別紙1のとおり）

4 教科、実施期間、定員、実施場所、研修内容等 別紙1のとおり

5 受講者

(1) 受講資格

- ・都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当指導主事並びにこれに準じる者
- ・高等学校、中等教育学校又は中学校で産業教育を担当する教諭等

(2) 女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の占める割合が高まることが期待されることから、当機構としては、女性の受講者の一層の増加を目指している。推薦者におかれては、女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(3) 推薦人数

受講定員は、別紙1のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能なので、積極的な推薦を行うよう努めること。

(4) 推薦手続

各都道府県、指定都市教育委員会において推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により、平成29年6月22日（木）までに推薦を行う。

(5) 受講者の決定

受講者については、各都道府県、指定都市教育委員会からの推薦に基づき、当機構が決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては当機構において調整を行う場合がある。

6 経 費

本研修に係る経費については、受講者一人当たり別紙1に定める「受講費限度額」の範囲内において派遣者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、受講者の決定通知後(例年、研修実施後、約2～3か月目処)、別途当機構より通知する。

※詳細は、別紙2「推薦名簿」の「記入上の注意」(注3)を参照のこと。

7 研修成果の報告

受講者は、研修終了後1か月以内に、研修により得られた成果等に関する報告書(研修成果報告書：別紙様式)を一部ずつ教育委員会(又は国立大学法人等)及び、当機構に提出する。

8 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。
- (2) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。

平成29年度 産業・情報技術等指導者養成研修

(別紙1)

教科 [研修分野]	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額
高等学校	農業 A-1	20	7月31日(月) ～8月4日 (金)	クリエート浜松 (静岡県浜松市)	生物活用及びグリーンライフに 関する講義と実習	生物活用及びグリーンライフに関する理論、交流活動及びグ リーンライフ活動に関するプログラム作成や評価方法などの講 義や実習を通して、指導力を高めることを目指した研修	特定非営利活動法人 しずおかユニバーサ ル 園芸ネットワーク	60,600
	工業 B-1	20	8月21日(月) ～25日(金)	金沢工業大学 (石川県野々市市)	教科「工業」における授業改善に 関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒 が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業 の改善にむけて、講義や演習を通して、指導力を高めることを 目指した研修	学校法人 金沢工業大学	49,700
	商業 C-1	40	7月31日(月) ～8月4日 (金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	主体的・対話的で深い学びの実 現を目指した教科「商業」におけ る授業改善に関する講義と実習	授業改善の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び 商業教育の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力 を高めることを目指した研修	千葉商科大学	24,700
	水産 D-1	15	8月7日(月) ～10日(木)	大日本水産会 (東京都港区)	水産物の品質管理と衛生管理に 関する講義と演習	水産物の品質管理及び衛生管理における講義と演習、産業施 設の見学などを通して、HACCPの知識と技術の取得を目指し た研修	一般社団法人 大日本水産会	61,000
	家庭 E-1	20	8月7日(月) ～10日(木)	7日～10日 全国高等学校家庭協会の研修 (東京都千代田区) 8日 杉野藤雄大学(東京都品川区) 9日 東京臨海新専門学校 (東京都大田区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産 業に関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最 新情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、 家庭科の指導力を高めることを目指した研修	全国高等学校長協会 家庭部会	28,100

高	等	学	校	看護	F-1	20	8月7日(月) ～9日(水)	茨城県立医療大 学 (茨城県稲敷郡阿 見町)	看護医療福祉の変化に対応し、 看護実践力を育成する授業に関 する講義と演習	保健医療福祉の現状や生徒が主体的・協働的に看護実践力を 身に付ける学習方法等に関する講義、協議、演習等を通して、 指導力を高めることを目指した研修	茨城県立医療大学	36,600
				情報	G-1	20	7月31日(月) ～8月4日 (金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	次期学習指導要領に対応したブ ログラミング及び教科「情報」の 授業改善に関する講義と実習	小学校から高校までの発達段階に応じたプログラミング、協働 的な問題解決型学習のための授業設計及び指導と評価、アク ティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業改善のための講義と 実習	千葉商科大学	78,100
				福祉	H-1	30	8月16日(水) ～18日(金)	16日・17日 サン・エールさがみはら(神 奈川県相模原市) 18日 神奈川県立津久井高等学校 校(神奈川県相模原市)	実践的介護の知識及び技能の 向上を図るための講習(教員介 護知識技能講習)	介護の知識及び技術の向上や科目「生活支援技術」、科目「生 活支援技術」の指導方法、展開方法の向上を図る。また、介護 の分野に留まらず、障害者福祉に関する知識を習得すること で、福祉全体を広く教授できる資質の向上を目指す研修(教 員介護知識技能講習の内容を含む)	全国福祉高等学校校長 会	8,200
				技術 ・ 家庭 (技術)	I-1	20	7月24日(月) ～28日(金)	宮城教育大学 (仙台市青葉区)	技術によってよりよい生活や持 続可能な社会を構築する資質・ 能力の育成を目指した技術分野 の指導	情報、生物育成、エネルギー変換等のテクノロジーについて理 解させるとともに、これらを用いて社会における問題を解決でき る力を育成するための指導に関する研修	国立大学法人 宮城教育大学	49,700
				技術 ・ 家庭 (技術)	I-2	20	7月31日(月) ～8月4日 (金)	鳴門教育大学 (徳島県鳴門市)	技術によってよりよい生活や持 続可能な社会を構築する資質・ 能力の育成を目指した技術分野 の指導	情報、エネルギー変換等のテクノロジーについて理解させると ともに、これらを用いて社会における問題を解決できる力を育 成するための指導に関する研修	国立大学法人 鳴門教育大学	47,400
				技術 ・ 家庭 (家庭)	J-1	20	7月31日(月) ～8月3日 (木)	横浜国立大学 (横浜市保土ヶ谷 区)	技術・家庭科における食育、幼 児理解に関する講義と実習	技術・家庭科における食育、幼児理解に関する講義と実習など を通して、専門的な知識及び技能の習得と指導力の向上を目 指した研修	国立大学法人 横浜国立大学	17,300

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修 推薦名簿

(別紙2)

都道府県市・国立大学
・学校名等 (注1)

教科名
(注2)

推薦順位	フリガナ		年齢・性別等 (H29.4.1現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注3)		備考
	氏名		年齢	性別	所属名称		経費負担区分		
				年齢			請求書送付先〒		
				性別			請求書送付先住所		
				職種			請求書送付先所属		
				担当教科			請求書送付先担当者		
				教職歴			請求書宛名		
				年齢			経費負担区分		
				性別			請求書送付先〒		
				職種			請求書送付先住所		
				担当教科			請求書送付先所属		
				教職歴			請求書送付先担当者		
				年齢			経費負担区分		
				性別			請求書送付先〒		
				職種			請求書送付先住所		
				担当教科			請求書送付先所属		
				教職歴			請求書送付先担当者		
				年齢			経費負担区分		
				性別			請求書送付先〒		
				職種			請求書送付先住所		
				担当教科			請求書送付先所属		
				教職歴			請求書送付先担当者		

記入上の注意

(注1) 「都道府県市・国立大学・学校名等」の欄には受講者の推薦とりまとめを行う都道府県、政令指定都市及び国立大学、私立学校名等を記入してください。

(注2) 各教科ごとに別業としてください。

(注3) 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2～3ヵ月目処)機構から請求書を送付します。なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名		所属郵便番号	
フリガナ		所属所在地	
所属電話番号		所属名称	
所属FAX		e-mailアドレス	

※この名簿は、本研修への受講者推薦に際し、使用するものであり、それ以外の目的で使用しません

平成29年度
産業・情報技術等指導者養成研修
研修成果報告書

都道府県・市・国立学校名

所属学校名 職 名	
氏 名	
研修教科及び 研修番号	
受講者番号	
研修期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
研修内容・成果	※研修参加者が作成した報告書等でも可

[illegible]

※添更にならざる場合研修の研修日程表については、5月12日現在のものであり、今後変更

(別紙様式1)

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(農業, A-1)

団体名 特定非営利法人 しずおかユニバーサル園芸ネットワーク

日 時	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
2017/7/31 (月)			開 講 式	【研究協議】 自己紹介・交流プロ グラム紹介 (久保田・1)	【演習】 目標と課題を明 確化する (久保田・1)	昼休み	【講義】 農産物のブランド化とは (岩崎・2)	【講義】 生物活用・グリーンライ フの現状と課題 (田畑・2)	諸 連 絡		
	2017/8/1 (火)	【講義】 6次産業化の実際 (伊藤・1.5)	【講義】 交流プロジェクトのマネジメント (久保田・1.5)		昼休み	【講義】 新しい農業の可能性 (加藤・2)	【演習】 交流プログラムの指導案 (久保田・2)				
2017/8/2 (水)	【講義】 園芸の特性と活用 (豊田正博・2)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)		昼休み	【講義】 未定 (・2)	【講義】 農業とリハビリテーショ ン (建木・2)					
2017/8/3 (木)	【講義】 グリーンツーリズムについて (豊田由美・1.5)	【実習】 観光農園の実際 (スマイルベリー・1.5)		昼休み・移動	【講義】 農業生産法人の可能性 (鈴木・2.5)	【実習】 ユニバーサル農業 の実際 (京丸園・1.5)					
2017/8/4 (金)	【講義】 生物活用・グリーンライフの可能性 (久保田・2)	【演習】 討議・新たな授業 の視点 (久保田・1)		閉 講 式							

実施会場: クリエイト浜松、京丸園、スマイルベリー (静岡県浜松市)

(別紙様式1)

平成29年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

(工業, B-1)

団体名: 金沢工業大学

時 限	1 時限 8:40~10:10	休 憩	2 時限 10:30~12:00	休 憩	3 時限 13:00~14:30	休 憩	4 時限 14:50~16:20	自主活動時間 16:40~18:00
日 時	8:40 9:00 10:00	11:00	12:00 13:00	14:00	15:00	16:00	17:00 18:00	
8 月 21 日 (月)	開講式 オリエン テーション 約 20 分	(講義) 教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向 (仮題)	(講義) PBL 概論 PBL 教育と技術者論理	休 憩	(講義) プロジェクトデザイン教育① 金沢工業大学のPBL教育 高校現場でのPBL実践例 (仮題)	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ①	
8 月 22 日 (火)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ②	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ③	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ④	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅰ⑤	休 憩		
8 月 23 日 (水)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ①	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ②	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ③	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ④	休 憩		
8 月 24 日 (木)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ⑤	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅱ⑥	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅲ①	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅲ②	休 憩		
8 月 25 日 (金)	(講義・演習) プロジェクト活動Ⅲ③	(討議) プロジェクトデザイン教育② 受講者と講師陣による 意見交換とまとめ	閉講式 12:00 ~12:40	休 憩	プロジェクト活動Ⅰ: テーマの発見・気づきに至る、情報収集・分析を通してのテーマの絞り込み活動を体験し、その 難しさを体験。 プロジェクト活動Ⅱ: 取り組み内容が具体的にいった段階のプロジェクトテーマから、コンセプトを示す何らか のモノを試作し、外部アピールまでを体験。 プロジェクト活動Ⅲ: 工業高校で適用する場合の評価方法について、ルーブリックを作成し相互に評価を体験。			

実施会場: 金沢工業大学扇が丘キャンパス (石川県野々市市)

(別紙様式1)

平成29年度産業・情報技術者等指導者養成研修日程

(商業、C-1)

団体名：千葉商科大学

日時	9:00	10:00	11:00	12:10	13:10	14:00	15:00	16:00	17:00
	1限 (9:00~10:30)		2限(10:40~12:10)		昼休み	3限(13:10~14:40)	休	4限(14:50~16:20)	休
7月31日 (月)		9:30受付 10:00開 始	西村先生	近藤説明		ファシリテーション能力の 向上 (後藤) 90分		ワークショップ・デザイン (後藤) 90分	商業教育の課題 【ワールド・カフェ実践】 (近藤・後藤) 90分 テーマについてワールド・カ フェ形式で話し合い
8月1日 (火)	アイデア創出の指導① (石井) 90分		アイデア創出の指導② (石井) 90分			アイデア創出の指導③ (石井) 90分		流通業から見た商業高校の 商品開発 (未定) 90分	グループ活動① 【自己紹介・振り返り】
8月2日 (水)	商業高校におけるケースメ ソッドの利用① 【ケースメソッド実践】 (未定) 90分		商業高校におけるケースメ ソッドの利用② 【ケースメソッド実践】 (未定) 90分		昼休み	ディベートの指導法① (未定) 90分		ディベートの指導法② (未定) 60分	グループ活 動② 【振り返 り】
8月3日 (木)	ケーススタディを取り入れた 財務諸表分析の指導① 【実践事例など】 (未定)		ケーススタディを取り入れた 財務諸表分析の指導② 【ケーススタディ実践】 (未定)			知識構成型シグソール法を取り 入れた科目「ビジネス基礎」 の授業展開 (未定) 90分		思考力・判断力・表現 力等を育む授業展開① 【事例など】 (笠木) 60分	グループ活 動③ 【振り返 り】
8月4日 (金)	会計教育 (未定)		商業高校卒 業者の公認 会計士試験 合格体験講 話 (未定)			グループ 活動⑤ 【教材研 究】 30分	グループ発表 【教材研究】 授業案の発表 60分	近藤 総務等 時間調 整含む	閉会式 16:00終了予定

実施会場：千葉商科大学

(別紙様式1)

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(水産, D-1)

団体名 一般社団法人大日本水産会

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
8/7 (月)		開 校 式	(講義) HACCP概論・前提条件プ ログラムの講義	昼休み	水産食品安全ハザード・準備段階・ハザード分析・CCP の決定等の講義						
8/8 (火)		ハザード分析作成の グループ演習		昼休み	ハザード分析作成の グループ演習			管理基準の設定・モニタリング手 順の設定・修正措置の講義			
8/9 (水)		検証・記録の講義		昼休み	HACCP計画作成のグループ演習						
8/10 (木)		HACCP導入済み工場見学 (9:30出発、11時到着) 株式会社横浜食品サービス 横浜南部ペスカメルカード		昼休み	HACCP導入済み工場見学 (13~15時まで工場見学、15時30分現地解散) 株式会社横浜食品サービス 横浜南部ペスカメルカード						

実施会場：一般社団法人大日本水産会 大会議室

(別紙様式1)

平成29年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

(家庭科 E-1)

全国高等学校長協会家庭部会

月日(曜)	午前1(9時30分～11時)		午前2(11時～12時30分)		昼休み 12:30	午後1(13時30分～15時00分)	午後2(午後15時00分～16時30分)		実施会場
	9:30	10:00	11:00	12:00			15:00	16:00	
1 8月7日 (月)	【開講式】 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義】 「家庭科における 授業改善の視点」 市毛 祐子	【講義】 「地域と共に歩む家庭科教育」 元校長 宮入 千恵子		12:30	【講義・演習】授業実践事例 「デザイン思考を取り入れた指導法の工夫」 兵庫県立西脇高等学校 主幹教諭 藤原 啓子	【講義・演習】 「住居分野における指導の工夫」 学芸大学 名誉教授 小澤 紀美子	全国高等学校長協会 会議室(千代田区)	
2 8月8日 (火)	杉野服飾大学 講師 五月女 由紀子	【講義・演習】 「繊維・アパレル産業の動向と ファッションビジネス」(仮)	【講義・演習】 「新素材の紹介」(仮) 「博物館見学」 杉野服飾大学 教授(博物館長) 鈴木美和子			【講義・演習】 「色彩に関する演習」(仮)	【講義・演習】 「デザインの発想や表現法」(仮)	杉野服飾大学	
3 8月9日 (水)	東京誠心調理師専門学校 講師 竹森 美佐子	【講義】 「現代の食生活の課題やトレンド、 フードビジネス等」(仮)	【実習】 「おいしさの科学と調理」(仮)			【講義・演習】 「盛り付けのテクニックと テーブルコーディネート」(仮)	【講義・演習】 「盛り付けの実践」(仮) 「施設見学」	東京誠心調理師専門学校 講師 河嶋 宏朗	
4 8月10日 (木)	栃木県立宇都宮中央女子高等学校 教諭 飯田 みゆき	【講義・演習】授業実践事例 「保育の指導法の工夫 ～保育技術後定を取り入れて～」	【講義】 「消費者市民を育む消費者教育の実践につい て」(仮)			【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	15:15 15:45 【閉講式】	会議室(千代田区) 家庭部会事務局 全国高等学校長協会	

(別紙様式1)

平成29年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

大学名 茨城県立医療大学

(看護, F-1)

日時	9:00	9:30	10:00	10:30	11:45	12:45	13:00	14:00	14:30	15:00	15:30	17:00
8月7日 (月)	受付	開講式	(講義・演習1) 「コミュニケーション技術の教授 法ー演習を通じた学習方法ー」		昼食 (交流会)	(演習2) 「コミュニケーション 技術」 まとめと発表		(講義) 「看護教育の現 状と課題」	休 憩		(講義) 「本学付属病院の 取り組みについて」 *付属病院看護部の 概要と医療大の実習 病院としての取組	
8月8日 (火)		(講義1) 「アクティブラーニ ングによる魅力あ る授業の取り組 み」	休 憩		昼食		(講義3・演習) 「アクティブラーニングによる魅力ある授業の取り組み」					
8月9日 (水)		(講義1) 「地域包括ケアシ テムについて」	休 憩		昼食		研修全体の 振り返り・	(講義) 福村 (文科省) 「今後の 看護教育に ついて」	閉講式			

実施会場：茨城県立医療大学 (茨城県稲敷郡阿見町)

(別紙様式 1)

平成 29 年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(情報, G-1)

団体名 千葉商科大学

日 時	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	12:10	13:10	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
7月31日(月)			受付	開講式	講義：学習指導要領 (文部科学省 教科調査官鹿野利春)	昼休み	アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善 事例と講義・実習 (聖心女子大学教授 益川弘如) (神奈川県立茅ヶ崎西浜高校教諭 鎌田高徳) (東京都立町田高等学校教諭 小原格) (千葉県立袖ヶ浦高等学校教諭 永野直)					
8月1日(火)			ネットワークの基礎・応用 (仁賀保高校教諭 早藤素史)			昼休み	Web サーバーと CMS の構築 実機と Cloud の比較 (文部科学省教科調査官 鹿野利春)					
8月2日(水)			コンテンツ分野の実践例と実習 (岐阜県立各務野高校教諭 矢野 祐一郎) (畿央大学客員教授 竹中章勝)			昼休み	Web サイトの設計と製作 Cloud 上の CMS の利用 (文部科学省教科調査官 鹿野利春) (畿央大学客員教授 竹中章勝)					
8月3日(木)			計測・制御 (埼玉大学教育学部 山本利一)			昼休み	AIプログラミング (京都すばる高校教諭 小西良尚)					
8月4日(金)			プログラムによるデータ解析 (千葉県立千葉高校教諭 大橋真也)			昼休み	振り返りと協議 (千葉商科大学教授 永井克昇)		閉講式			

実施会場: 千葉商科大学

(別紙様式 1)

平成 29 年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(福祉, H-1)

団体名 全国福祉高等学校長会

日 時	13:00 13:15 16:30		
8 月 16 日 (水)		開講式	(講義・演習①・②) 認知症の理解・認知症の介護 会場：サン・エールさがみはら
日 時	9:15	12:30 13:15	16:30
8 月 17 日 (木)	(講義・演習③・④) 生活支援技術 会場：サン・エールさがみはら	昼休み	(演習) 障害者平等研修 D E T 会場：サン・エールさがみはら
日 時	9:30	12:00 12:45	14:15 14:30
8 月 18 日 (金)	(研究協議) 障害者福祉をどう教えるか 会場：津久井高等学校	昼休み	高校福祉教育の現状と 今後の動向について 会場：津久井高等学校
閉講式			

実施会場：サン・エールさがみはら (神奈川県相模原市)
神奈川県立津久井高等学校 (神奈川県相模原市)

(別紙様式 1)

平成 29 年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭(技術), I-1)

団体名 宮城教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月24日 (月)	受付 9:00-9:50	開講式 9:30-9:50	(講義) これから 学習指導要領の改訂を 踏まえて 10:00-11:30	昼休み 11:30-12:20	(講義/実習) 材料と加工の技 術の原理・法則 (加工技術の活 用に関する発 想) 12:20-13:20	(講義/実習) 材料加工技術の理解を深める 題材の検討(鉋の刃研ぎ ・木材小作品) 1 13:30-15:30	(講義/実習) 材料加工技術の理解を深め る題材の検討(鉋の刃研ぎ 治具・木材小作品) 2 15:40-17:40		
7月25日 (火)	(講義) 電気エネルギー活用のため の原理と法則 9:00-10:30	(講義) 生活を支える省エネギ ー技術 1 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 生活を支える省エネギ一技 術 2 13:00-15:00	(講義/実習) 課題解決型の制御学習 1 15:10-17:10				
7月26日 (水)	(講義) 生活や社会を支える情 報技術(情報モラル・サ イバーセキュリティ) 9:00-10:30	(講義/実習) 情報の技術の授業設計 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 計測・制御のプログラミング 13:00-15:00	(講義/実習) 双方向性のあるコンテンツの プログラミング 15:10-17:10				
7月27日 (木)	(講義) 生物育成分野の目的・作物栽 培技術の基礎 9:00-10:30	(講義/実習) 作物管理実習を通して 作物成長の原理・法則 の理解 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 養液栽培や栽培容器製作によ る育成環境を調節する方法の 検討 13:00-15:00	(講義/実習) 生物育成に関する新しい技術 の理解と活用(パイテク体験 を含む) 15:10-17:10				
7月28日 (金)	(講義/実習) エネルギー変換におけ る力学的な原理・法則 の理解を深める題材の 検討(往復スライダク ランク機構) 1 9:00-10:30	(講義/実習) エネルギー変換におけ る力学的な原理・法則 の理解を深める題材の 検討(往復スライダク ランク機構) 2 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 新しい技術の選択と 新しい発想に基づく 改良と応用(デジタ ル工作機械の活用) 13:00-14:30	(講義/実習) 課題解決型の制 御学習 2 14:40-15:40	(講義/実習) 閉講式 15:50-16:20			

実施会場：宮城教育大学

(別紙様式1)

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術, I-2)

団体名: 鳴門教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
平成29年 7月31日(月)		9:30- 10:00 開 講 式	(講義 10:00-12:00) これからの技術教育ー学習指導 要領の改訂を踏まえてー	昼休み	(講義 13:00-15:00) 技術と情報の歴史(計算 機器の変遷を中心として)		(実習 15:00-17:00) 新しい学習指導要領に 対応した技術教材の利用		
8月1日(火)	(実習 9:00-12:00) A班: 中学校技術におけるエネルギー変換と材料加工 B班: 中学校技術におけるプログラミングの基礎と応用			昼休み	(実習 13:00-17:00) A班: 中学校技術におけるエネルギー変換と材料加工 B班: 中学校技術におけるプログラミングの基礎と応用				
8月2日(水)	(実習 9:00-12:00) 中学校技術における情報システム構築とネットワーク 利用			昼休み	(実習 13:00-17:00) 中学校技術における情報システム構築とネットワーク利用				
8月3日(木)	(実習 9:00-12:00) A班: 中学校技術におけるプログラミングの基礎と応用 B班: 中学校技術におけるエネルギー変換と材料加工			昼休み	(実習 13:00-17:00) A班: 中学校技術におけるプログラミングの基礎と応用 B班: 中学校技術におけるエネルギー変換と材料加工				
8月4日(金)	(研究協議 9:00-12:00) 第1・2・3班: (各班での協議) 技術教育ディスカッション(新しい学習指導要領の実 施に向けて)			昼休み	(研究協議 13:00-15:00) 技術教育ディスカッション (全体発表)		15:00- 15:30 閉 講 式		

実施会場: 鳴門教育大学

平成29年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭：J-1)

団体名：横浜国立大学

日時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
7月31日 (月)		開講式 10:00 開会 10:02 挨拶 10:12 閉会 オリエンテーション 10:15-10:25	受付	昼食	(講義)「新学習指導要領に向けた家庭分野における指導の充実」 (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育学部講義棟7号館311室 10:35-12:00	昼食	(報告・演習)「家庭科・技術・家庭科(家庭分野)における食に関する指導の実践事例報告及び演習」 (担当)築地晶子(横浜国立大学附属横浜小学校教諭)、大川美子(宇都宮市立陽西中学校教諭)、筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-14:50	休憩十分	(講義)「家庭分野における食育・幼児理解に関する指導の充実」 (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育学部講義棟7号館311室 15:00-16:00	休憩十分	(演習)「幼児との触れ合い活動に関する情報交換」 (担当)仲原千鶴子(神奈川県教育委員会教育局指導主事) 教育学部講義棟7号館311室 16:10-17:30
8月1日 (火)	(講義・実習)「幼児理解と幼児との触れ合い活動」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 森のルーナ保育園 9:00-12:00	昼食				(演習)「幼児の観察・触れ合い活動のまとめと発表」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 13:00-14:50	休憩十分	(講義)「幼児理解につながる触れ合い活動とは」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育学部講義棟7号館311室 15:00-16:00	休憩十分	(演習)「幼児の観察や触れ合い活動における指導の工夫」 グループ討議 16:10-17:10	
8月2日 (水)	(講義・演習)「栄養を考えた献立作成の指導」 (担当)三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育学部講義棟7号館311室、第1研究棟311室 9:00-12:00	昼食	昼食・移動	(演習)食の現代的問題1 「環境に配慮した調理」 (担当)眞坂泰子(東京ガス株式会社「食」情報センター) (株)東京ガス横浜ショールーム ケンギングスタジオ 13:30-14:55	休憩十分	(演習)食の現代的問題2 「食育における食品安全性」 (担当)山本和貴(農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 研究員) (株)東京ガス横浜ショールーム ホール 15:05-16:30	休憩十分	(講義)食の現代的問題2 「食育における食品安全性」 (担当)山本和貴(農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 研究員) (株)東京ガス横浜ショールーム ホール 15:05-16:30	休憩十分	(演習)「献立作成に関する指導の工夫」 グループ討議 16:40-17:30	
8月3日 (木)	(実習)「調理科学の視点を重視した実習指導」調理実習 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授) 教育学部第1研究棟312室 調理学実験実習室 9:00-12:00	昼食	(ディスカッション) 「技術・家庭科(家庭分野)における食育・幼児理解に関する指導の充実」 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授)、園田菜摘(横浜国立大学教授)、三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育学部講義棟7号館310室 13:00-14:25	閉講式 14:35 開会 14:37 挨拶 14:45 修了証授与 14:55 閉会 アンケート回収 諸連絡	休憩十分						

実施会場：横浜国立大学教育学部講義棟、(株)東京ガス横浜ショールーム